

## 飯田自然エネルギー大学 受講生募集要項

おひさま進歩エネルギー株式会社およびNPO 法人南信州おひさま進歩は、地域主導型自然エネルギー事業で即戦力として事業化に取り組む起業者の育成を目指して、飯田市等と連携して飯田自然エネルギー大学を開校します。つきましては、次の内容で受講生を募集します。

### 1、設立趣旨

飯田自然エネルギー大学は、太陽光発電や小水力発電、バイオマスなど、エネルギーを地産地消する地域主導型自然エネルギー事業に取り組む起業者の育成を目的に設立します。

地域主導型自然エネルギー事業を軌道に乗せるためには、自然エネルギーの専門知識、現場での実践力、経営や税務、資金調達等の知識が求められます。また、住民や行政、企業など地域のさまざまな人々と関わり、意見をまとめていく力も必要です。

飯田自然エネルギー大学では、2年間のカリキュラムを通じて幅広い専門知識と実践力をもつ起業者を育成し、日本各地での地域主導型自然エネルギー事業の更なる普及を目指します。

### 2、実施内容

#### (1) カリキュラム概要

2年間かけて講義、実地研修、事業化のフォローアップを段階的に進めて、起業を後押しする。

- ・ 1年に10回、講義及び実地研修を組み合わせた2日間のプログラムを長野県飯田市で行う
- ・ 1日目は自然エネルギーや金融、起業に必要な専門知識等を学ぶ「講義」。講義カリキュラムは、京都大学大学院経済学研究科・諸富徹教授が監修する。自然エネルギーの研究者、現場で活動する実践者、行政職員、金融関係者等を講師に迎える
- ・ 2日目は飯田市及び周辺地域で、自然エネルギー事業に取り組む事業者や関係施設を訪問する「実地研修」を行い、現場の具体例に基づいて学習を深める
- ・ 講義内容は、1年目は自然エネルギーについての「総論／理論編」、2年目は「実践編」とする。受講希望者の習熟度によっては2年目からの受講も可能

#### (2) 講師

講義カリキュラムの講師予定者は、次の通り。

諸富徹(京都大学大学院経済学研究科 教授)

高橋洋(都留文科大学社会学科 教授)

竹濱朝美(立命館大学産業社会学部 教授)

東愛子(尚絅学院大学総合人間科学部 環境構想学科 准教授)

竹ヶ原啓介(日本政策投資銀行 環境・CSR 部長)

水上貴央(NPO 法人再エネ事業を支援する法律実務の会 代表弁護士)

木村啓二(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)

安田陽(関西大学システム理工学部電気電子情報工学科 准教授)

中島大(全国小水力利用推進協議会 理事)

相川高信(三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員)

ラウパツハ＝スミヤ・ヨーク(立命館大学経営学部 教授)

山下英俊(一橋大学大学院経済学研究科 准教授)

中山琢夫(京都大学大学院経済学研究科 特定助教)

長谷川隆三(株式会社フロントヤード 代表取締役)

榎原友樹(E-konzal 代表取締役)

原亮弘(おひさま進歩エネルギー株式会社 代表取締役)

※このほか行政、金融機関等の講師を予定しています

(3) 主会場

飯田市旧飯田測候所 (長野県飯田市馬場町3-411)

※おひさま進歩エネルギー株式会社、NPO 法人南信州おひさま進歩が事務所として使用

(4) 日程

年 10 回、2 日間の日程で授業を行います。現在決まっている平成 28 年度の日程は、次の通り。

開校式及び第 1 回 5 月 28 日 (土) 13:30~29 日 (日)

講義講師：諸富徹教授 (京都大学大学院経済学研究科)

第 2 回 6 月 25 日 (土) 14:00~26 日 (日)

講義講師：高橋洋教授 (都留文科大学社会学科)

第 3 回 7 月 23 日 (土) 14:00~24 日 (日)

講義講師：竹濱朝美教授 (立命館大学産業社会学部)

※1 日目の講義は、90 分授業を 2 コマ (合計 180 分)

※2 日目の実地研修は、午前中をめぐりに実施予定

(5) 課題レポート提出

毎回、講義前に講師が課題テキストを指定して、事前に課題レポートを提出する。

講義では、講師による授業と課題レポートを踏まえた受講生のディスカッションを行う。

(6) 修了証

カリキュラム修了時、飯田自然エネルギー大学を修了したことを証明する「修了証」を発行する。

### 3、費用について

(1) 受講料

無料

(2) 交通及び宿泊費

受講生が各自負担する

(3) レポート用の課題テキスト

受講生が課題テキストの購入を希望する場合、各自負担する

### 4、募集条件・応募方法

(1) 募集条件

- ① 地域主導型自然エネルギー事業で起業する意欲があること
- ② 原則として、すべてのカリキュラムに出席できること
- ③ カリキュラムで課されるレポート等に取り組み、提出すること

(2) 募集定員

20人（応募状況や選考結果によって多少増減する場合があります）

(3) 選考方法

応募用紙と小論文2点を提出。事務局で選考を行います。

(4) 応募方法

応募用紙と小論文2点を郵送、持参、電子メールで提出してください。

①応募用紙 ※所定の用紙に必要な事項を記入して写真を添付する

②小論文・I（1500～3000字以内）

再生可能エネルギーを普及させるためには、4月1日から始まった電力自由化や、将来の電力システムをどのように設計すべきかという点について、お考えを自由に展開してください。

※図表は使用可。ただし文字数には含まない

③小論文・II テーマ「将来への抱負」（800字以内）

修了後の展望等について記述してください。

(5) 募集期間

平成28年4月11日（月）～5月6日（金）※当日消印有効

(6) 選考結果について

5月12日（木）以降、すべての応募者に郵送で通知します。

(7) 応募書類の提出先

〒395-0027 長野県飯田市馬場町3-411

おひさま進歩エネルギー株式会社

飯田自然エネルギー大学事務局 宛て

電子メール [info@ohisama-energy.co.jp](mailto:info@ohisama-energy.co.jp)

(8) お問い合わせ

おひさま進歩エネルギー株式会社

電話 0265-56-3711 / F A X 0265-56-3712

電子メール [info@ohisama-energy.co.jp](mailto:info@ohisama-energy.co.jp)

担当 伊藤、菅沼